様式第２号（第４条関係）

豊明市行政評価制度　「事務事業」評価票

● ４段階評価結果	
	Ａ ： 上位目的である施策に貢献しているので継続する
	Ｂ ： 事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
	Ｃ ： 縮小等、事務事業としての見直しが必要
	Ｄ ： 事務事業の廃止が相当

１■事務事業の概要

１－１事務事業の名称	ウォーキング推進事業							
１－２担当	部	健康福祉部	課又は施設	健康推進課	係	健康健診係	評価票作成者	健康健診担当　松村清子

１－３総合計画における施策の体系	①節	保健福祉 「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」	③基本施策	成人・老人保健	コード	2―1―1
			④単位施策（中）	生活習慣病予防対策の充実	コード	2―1―1―1
	②項	健康	⑤単位施策（小）	運動による健康づくりの推進	コード	2―1―1―1―3
１－４事務事業の目的の精査	対象と対象の数	一般市民	意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）	健康アクションプラン２１でも重点項目となっている運動習慣、特にウオーキングを生活習慣として取り入れて市民が健康であることが自覚できる		
１－５事務事業の内容	ウオーキングマップを市民参画で作成し、市民へ配布。またマップを媒体として気軽にウオーキングや散歩ができるように、健康づくり市民ウオーキングを月に１回、ウオーキング推進グループが（ウオーキングマップ作成に係った市民がそのままグループ化される）主導的に実施					

２■事務事業実施の状況

		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
２－１事務事業の実施における基本認識	平成23年度	参加者が定着している。より効果的なウオーキングにつながるような意識付けに心がける。		
	平成24年度	既存参加者の定着はもちろん、新規参加者の増加を狙ったコース設定やPRを実施。また、市制４０周年記念事業として、新ウォーキングマップの作成・講演会の開催・年間参加回数に応じた記念品の贈与を行い、ウォーキングへの関心と月１回のウォーキング事業参加意欲を高める働きかけをした。		
	平成25年度	新規参加者の増加を目的に、参加者がコースを選択して参加できるよう、毎月ショートコースとロングコースを設定し実施した。		
	平成26年度			
	平成27年度			

	事務事業成果指標名	前期目標値（単位）	後期目標値（単位）	指標の説明
２－２総合計画における単位施策成果指標	１日平均ウォーキング時間が30分未満の人の割合（%）　(60-69歳)	33.0（%）	28.0（%）	日常生活における身体活動量を増やす具体的な方法として、最も安全で効果的な歩行を増加させることを指標とする。とよあけ健康基本計画21「生活習慣関連調査」

２－３成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	活動実績ａ（単位）	480（人）	470（人）	480（人）	685（人）	750（人）	631（人）	876（人）	1,075（人）		
	直接事業費ｂ（千円）	241	0	7	3	5	35	140	14		
	人件費ｃ（千円）	389	214	173	211	224	216	216	313		
	合計コストｄ（ｂ＋ｃ）（千円）	630	214	180	214	229	251	356	327		
	単位コストｄ／ａ（千円）	ウオーキングの日参加者当たり　1.0	ウオーキングの日参加者当たり　0.5	ウオーキングの日参加者当たり　0.4	ウオーキングの日参加者当たり　0.3	ウオーキングの日参加者当たり　0.3	ウオーキングの日参加者当たり　0.4	ウオーキングの日参加者当たり　0.4	ウオーキングの日参加者当たり　0.3	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 →

【直接事業費】誘導用ウォーキングベスト　１３，７６５円
【人件費】＜会議＞1.5時間×１２回×２人×２，９００円＝１０４，４００円　＜ウォーキング実施日＞３時間×１２回×２人×２，９００円＝２０８，８００円

２－４成果指標に対応する実績と達成度の推移		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	指標対応実績（単位）	―	―	30.5	―	―	―	―	―		
	後期目標値に対する達成度（%）	―	―	64.3（%）	―	―	―	―	―		

※指標対応実績は、アンケート結果

３■事務事業の自己評価結果

３－１　評価結果（アウトカム自己分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	単年度担当課評価	A	A	A	A	A	A	A	A		

３－２	他団体等との協働の有無・協働主体	☐ 市民（個人・家庭）	☑ NPO・市民団体	☐ 区・町内会	☐ 企業・農協・商工会	☐ 学校	☐ 国・県・市町	☐ その他　（　　）	☐ なし
現状・課題	他団体等と協働し行った事業内容・各々が担った役割	市	健康寿命をのばすことを目指して第２次とよあけ健康２１計画を策定。 本市における健康状態を分析し、重点課題を抽出。 重点課題に対する取り組みの４本柱の一つとして「運動」を掲げ、作業部会で具体策について検討し、計画書にまとめた。						
		NPO・市民団体	市民団体代表者に作業部会メンバーとして参画。 今後は、市との協働により計画推進と進捗管理を行う。						
	事業実施により効果があったこと	各所で作成しているウォーキングマップや運動に関する情報を集約し市民がより利用しやすいよう情報提供するなど、発展的な取り組みを考えることができた。 運動に関するボランティア活動をしている市民団体代表者同士の情報交換・情報共有の場となり、今後の活動において連携を視野に入れた発言が見られた。							
	事業実施における課題	第２次とよあけ健康２１計画の目標達成のための取り組みの実施 ・現在あるウォーキングコースを活用しやすいように情報提供する。 ・幅広く市内の運動に関する活動の情報を集約することで、市民にとって身近な情報が簡単に手に入る仕組みを作る。							
	課題に対する改善策	関係機関や市民団体へ出向くなどし、情報収集し、集約・情報提供を行う。							

4 ■新規事業

新規事業	事務事業の目的達成のためにできる新たな取組み（可能な限り協働の視点重視）	第２次とよあけ健康２１計画の推進 （市民団体と協働して運動を推進する）	
	協働者となり得る主体・協働し担う役割	市	主に運動に関するボランティアをしている市民団体の活動の場に出向き、情報収集し、既存の活動を活かしてより効率的・効果的にウォーキングをはじめとした運動を推進できるよう調整する。
		NPO・市民団体	計画推進への参画 ・活動情報の提供 ・アイデアや意見を出し、情報集約や周知方法の検討、周知に協力

5 ■事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
総合評価の結果	平成25年度	A	観光や歴史・文化・自然などの関係団体との連携を図りながら事業の推進に努めること。またウォーキングの有効性をさまざまな場面で伝えるなど市民の意識向上にも努めること。

6 ■次年度事業への反映

事務事業の方向性内容	A　拡大	関係機関や市民団体へ出向き、情報収集し、ウォーキングマップや運動情報の集約に取りかかる。